

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

Amazon SageMaker サービスレベルアグリーメント

最終更新: 2022 年 5 月 4 日

本 Amazon SageMaker サービスレベルアグリーメント(「本 SLA」)は、AWS カスタマーアグリーメントまたは利用者による本サービスの利用に適用される他の契約(「本件契約」)の条件に基づく Amazon SageMaker の利用を規律するポリシーである。本 SLA は、Amazon SageMaker を利用するアカウントごとに個別に適用される。本書に別段の定めがない限り、本 SLA は本件契約の条件に従うものとし、英語版における語頭が大文字で表記された用語は本件契約で定められた意味を有するものとする。当社は、本 SLA に定める条件を本件契約に従って変更する権利を留保する。

本 SLA は、Amazon SageMaker の以下の機能に適用される。

- 「Online Inference」 - Amazon SageMaker InvokeEndpoint API。複数のインスタンスでサポートされるモデルエンドポイント用。
- 「Batch Transform」 - Amazon SageMaker CreateTransformJob API および StopTransformJob API。

サービスコミットメント

AWS は、Amazon SageMaker を、毎月の請求期間において、各 AWS リージョンの月間稼働率(以下に定義)で利用可能にするため、商業上合理的な努力を行う(「サービスコミットメント」)。Amazon SageMaker がサービスコミットメントを満たさない場合、利用者は以下のとおりサービスクレジットを受け取ることができる。

定義

- 「サービスクレジット」とは、対象となるアカウントにクレジットされる、下記の規定により計算されたドル建てのクレジットをいう。
- 所定の AWS リージョンの「月間稼働率」は、月次請求期間におけるすべての 5 分間インターバルの可用性の平均として計算されている。月間稼働率の測定では、Amazon SageMaker SLA 除外事項(以下に定義)に直接または間接的に起因するダウンタイムを除外する。
- 「可用性」は、Amazon SageMaker によってエラー(以下に定義)が発生することなく処理され、プロビジョニングされた Amazon SageMaker の機能のみに関連するリクエスト(以下に定義)の割合を、5 分間のインターバルごとに計算する。所定の 5 分間のインターバルにリクエストを行わなかった場合、そのインターバルは 100%利用可能であると想定される。
- 「リクエスト」とは、以下を意味する。

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合（翻訳の遅れによる場合を含む）、英語版が優先します。

o Online Inference では、InvokeEndpoint API を直接呼び出して Amazon SageMaker の関数を呼び出す。

o Batch Transform では、CreateTransformJob API および StopTransformJob API を直接呼び出して Amazon SageMaker の関数を呼び出す。

•「エラー」とは、500 または 503 のエラーコードが返されるリクエストをいう。

サービスクレジット

サービスクレジットは、Amazon SageMaker Online Inference または Batch Transform (いずれか該当する方) に対し、利用者が後日支払う月次請求期間料金の定率として計算される。月次請求期間における、所定の AWS リージョンの月間稼働率は、以下の表に示されている範囲内に収まるものとする。

Online Inference の場合：

月間稼働率	サービスクレジット率
99%以上、99.95%未満	10%
99%未満	25%
95%未満	100%

Batch Transform の場合：

月間稼働率	サービスクレジット率
99%以上、99.9%未満	10%
99%未満	25%
95%未満	100%

サービスクレジットは、Amazon SageMaker Online Inference または Batch Transform (いずれか該当する方) について今後請求される支払いに対してのみ適用できる。当社はその裁量において、利用不可状態が発生した請求期間の支払いの際に利用者が使用したクレジットカードに対して、サービスクレジットを発行することができる。サービスクレジットは、利用者に対し、AWS から返金その他の支払いを受ける権利を与えるものではない。サービスクレジットは、該当する月次請求期間の当該クレジット金額が 1 米ドル (\$1 USD) を超える場合のみ適用され、発行される。サービスクレジットは譲渡できず、また他のアカウントに充当することはできない。本件契約に別段の規定がない限り、Amazon SageMaker の提供において、当社に

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

よる利用不可状態、パフォーマンスの不実行、その他不履行が生じた場合、利用者の唯一かつ排他的な救済は、本 SLA の契約条件に従いサービスクレジット(該当する場合)を受け取ることである。

クレジットの請求および支払手続

サービスクレジットを受け取るには、AWS サポートセンターでケースを作成することにより、請求(リクエスト)を提出する必要がある。対象となるには、インシデント発生後、2 回目の請求期間の末日までに、以下の情報を添えてクレジットのリクエストを当社に提出しなければならない。

(i) 件名に「SLA Credit Request(SLA クレジットリクエスト)」という文言を入れること

(ii) 利用者がサービスクレジットを請求する対象の請求期間および AWS リージョン、当該請求期間における当該 AWS リージョンの所定の月間稼働率、当該請求期間を通して当該 AWS リージョンの可用性が 100%未満である場合の 5 分間のインターバルごとの具体的な日時および可用性の情報

(iii) 利用者が主張する停止のエラーを記録する、利用者のリクエストログ(これらのログ内の機密情報または機微性の高い情報は削除するかアスタリスク(*)で置き換えること)

かかるクレジットリクエストに関する月間稼働率を当社が確認し、サービスコミットメント未満であった場合、当社は、クレジットリクエストが行われた月の翌請求期間内に利用者にサービスクレジットを発行する。上記要件を満たすクレジットリクエストおよびその他の情報を提供しなかった場合、利用者はサービスクレジットを受け取る権利を失う。

Amazon SageMaker SLA 除外事項

以下の場合(総称して「Amazon SageMaker SLA 除外事項」という)において、サービスコミットメントはいかなる Amazon SageMaker の利用不可状態、停止もしくは終了、またはその他の Amazon SageMaker のパフォーマンス上の問題にも適用されない。

(i) 不可抗力事由または Amazon SageMaker の責任分界点を超えるインターネットアクセスもしくは関連する問題を含む、当社の合理的支配の及ばない要因に起因する場合

(ii) 利用者の作為または不作為(プロビジョニングされたキャパシティのスケーリング、セキュリティグループの構成ミス、VPC 構成またはクレデンシャル設定の誤設定、暗号化キーの無効化または暗号化キーのアクセス不能化など)に起因する場合

(iii) AWS サイトの Amazon SageMaker ドキュメントに記載されたベストプラクティスに従っていないことに起因する場合

(iv) 利用者の装置、ソフトウェアもしくはその他のテクノロジーに起因する場合

(v) 本件契約に従った、Amazon SageMaker を利用する利用者の権利の停止および終了に起因する場合

以下の翻訳は情報目的のみで提供されます。本翻訳版と英語の最終更新版との間に差異、不一致、矛盾が存在する場合(翻訳の遅れによる場合を含む)、英語版が優先します。

当社の月間稼働率の計算に明示的に使用される要因以外の要因が可用性に影響を与えている場合には、当社はその裁量において、かかる要因を考慮してサービスクレジットを発行することができる。